

平成21年度 今治市の財務諸表

連結財務諸表4表については、「新地方公会計制度実務研究会報告書（平成19年10月公表）」に基づく総務省方式改訂モデルにより、普通会計、公営企業会計に全ての特別会計や市が一定割合以上出資している外郭団体等を含めた方式で作成している。

- ①連結バランスシート(貸借対照表)
- ②連結行政コスト計算書
- ③連結純資産変動計算書
- ④連結資金収支計算書

連結財務諸表作成の前提条件

① 対象範囲	<p>普通会計、公営企業会計(2会計)、特別会計等(17会計)</p> <p>一部事務組合・広域連合(2団体)、外郭団体(8団体)</p>
② 対象年度	平成21年度(基準日:平成22年3月31日)
③ 会計基準	<p>I. 決算統計データから作成したバランスシートを活用</p> <p>II. 地方公営企業法施行規則等に基づいて作成した貸借対照表を活用</p> <p>III. 公益法人会計基準、企業会計原則、土地開発公社定款等に基づいてそれぞれ作成され、市議会への報告がなされている各々の貸借対照表等を活用</p>
④ 減価償却方法	<p>I. 新地方公会計制度実務研究会報告書による耐用年数等に基づく定額法による</p> <p>II. 地方公営企業法施行規則による耐用年数等に基づく定額法による</p> <p>III. 減価償却資産の耐用年数等に関する省令(昭和40年大蔵省令第15号)の規定に基づく定額法による</p>
⑤ 退職手当引当金	<p>普通会計、公営企業会計、特別会計等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会計年度末に職員全員が普通退職した場合の退職手当支給見込額から、翌年度支払予定退職手当の額を除いた額を計上 <p>外郭団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの貸借対照表上に計上している額を計上
⑥ 出納整理期間中の調整	<p>普通会計においては出納整理期間が設けられており、出納整理期間中の現金の受払い等が終了した後の計数を会計年度末に計上しているが、公営企業会計及び関係団体には出納整理期間が存在しない。連結に際して、普通会計において出納整理期間中に公営企業会計等へ現金の受払い等がなされた場合は、公営企業会計等においても、これに対応する現金の受払い等が当該年度末に終了したものとして調整を行っている。</p>

※ I 普通会計・公営企業会計以外の特別会計

※ II 公営企業会計

※ III 外郭団体

〈留意点〉

※外郭団体等を一つの行政主体であるとみなして作成したものであり、各団体の資産及び負債等が本市に帰属するものではない。

※各項目を四捨五入しているため内訳と合計が一致しないことがある。

①連結バランスシート

バランスシート(貸借対照表)は、年度末における

- ◆資産＝将来の世代に引継ぐ社会資本、債務返済の財源等 と
- ◆負債＝将来の世代の負担となる債務
- ◆純資産＝これまでの世代の負担 とを対比させて表示したものである。

平成22年3月31日現在

資産 5,612億円		負債 1,617億円	
将来の世代に引継ぐ社会資本		将来の世代の負担となる債務	
1 公共資産	5,256億円	1 地方債	1,448億円
(1)有形固定資産		2 未払金	15億円
①建物など	4,101億円	3 退職手当引当金	143億円
②土地	1,065億円	4 その他	11億円
(2)売却可能資産	90億円	純資産 3,995億円	
債務返済の財源等		これまでの世代の負担	
2 投資等	159億円	過去に市民から徴収した税金や、国・県からの財源により取得した資産	
3 流動資産	197億円		

平成21年度末現在の今治市の資産は5,612億円となっている。
 そのうち3,995億円については、これまでの世代の負担で既に支払いが済んでおり、残り1,617億円がこれからの世代の負担となり、今後債務を返済していくことになる。
 負債(借金)に頼らない資産形成を進めるとともに、売却可能な資産の処分も進めていく必要がある。

市民一人当たりの連結バランスシート

資産 326万円		負債 94万円	
将来の世代に引継ぐ社会資本		将来の世代の負担となる債務	
1 公共資産	306万円	1 地方債	84万円
(1)有形固定資産		2 未払金	1万円
①建物など	239万円	3 退職手当引当金	8万円
②土地	62万円	4 その他	1万円
(2)売却可能資産	5万円	純資産 232万円	
債務返済の財源等		これまでの世代の負担	
2 投資等	9万円	平成22年3月31日現在 今治市人口 171,947人	
3 流動資産	11万円		

連結貸借対照表

(平成22年3月31日現在)

(単位:千円)

借 方		貸 方	
[資産の部]		[負債の部]	
1 公共資産		1 固定負債	
(1) 有形固定資産		(1) 地方公共団体	
①生活インフラ・国土保全	296,972,697	①普通会計地方債	74,388,074
②教育	55,125,634	②公営事業地方債	54,676,198
③福祉	11,860,631	地方公共団体計	129,064,272
④環境衛生	45,201,379	(2) 関係団体	
⑤産業振興	77,807,021	①一部事務組合・広域連合地方債	0
⑥消防	5,598,336	②地方三公社長期借入金	3,070,000
⑦総務	23,948,321	③第三セクター等長期借入金	0
⑧収益事業	0	関係団体計	3,070,000
⑨その他	0	(3) 長期未払金	977,509
有形固定資産計	516,514,019	(4) 引当金	13,175,008
(2) 無形固定資産	2,557	(うち退職手当等引当金)	13,168,307
(3) 売却可能資産	9,044,696	(うちその他の引当金)	6,701
公共資産合計	525,561,272	(5) その他	225
		固定負債合計	146,287,014
2 投資等		2 流動負債	
(1) 投資及び出資金	1,939,919	(1) 翌年度償還予定額	
(2) 貸付金	511,291	①地方公共団体	12,316,713
(3) 基金等	12,140,021	②関係団体	0
(4) 長期延滞債権	2,032,361	翌年度償還予定額計	12,316,713
(5) その他	0	(2) 短期借入金(翌年度繰上充用金を含む)	279,559
(6) 回収不能見込額	△ 736,904	(3) 未払金	561,840
投資等合計	15,886,688	(4) 翌年度支払予定退職手当	1,170,568
		(5) 賞与引当金	786,844
3 流動資産		(6) その他	252,288
(1) 資金	18,538,185	流動負債合計	15,367,812
(2) 未収金	1,268,405		
(3) 販売用不動産	0	負債合計	161,654,826
(4) その他	118,001		
(5) 回収不能見込額	△ 191,278	[純資産の部]	
流動資産合計	19,733,313		
		純資産合計	399,526,447
4 繰延勘定	0		
		負債及び純資産合計	561,181,273
資産合計	561,181,273		

連結バランスシートの会計別内訳

(平成22年3月31日現在)

(単位:百万円)

会計名	普通会計	公営企業 会計	特別会計 等	一部事務 組合	外郭団体	相殺による 調整額	計
[資産の部]							
1. 公共資産							
(1) 有形固定資産							
①生活インフラ・国土保全	214,771		82,202				296,973
②教育	55,052				74		55,126
③福祉	11,846			15			11,861
④環境衛生	14,052	28,321	2,828				45,201
⑤産業振興	52,685		24,365		757		77,807
⑥消防	5,598						5,598
⑦総務	23,947			1			23,948
⑧収益事業							0
⑨その他							0
有形固定資産計	377,951	28,321	109,395	16	831	0	516,514
(2) 無形固定資産		2					2
(3) 売却可能資産	2,162				6,883		9,045
公共資産合計	380,113	28,323	109,395	16	7,714	0	525,561
2. 投資等							
(1) 投資及び出資金	2,096				324	△ 480	1,940
(2) 貸付金	3,720				159	△ 3,368	511
(3) 基金等	9,623	966	1,097	194	260		12,140
(4) 長期延滞債権	1,081		951				2,032
(5) その他							0
(6) 回収不能見込額	△ 400		△ 337				△ 737
投資等合計	16,120	966	1,711	194	743	△ 3,848	15,886
3. 流動資産							
(1) 資金	14,448	1,665	1,810	399	216		18,538
(2) 未収金	312	479	426		52		1,269
(3) 販売用不動産							0
(4) その他		110			8		118
(5) 回収不能見込額		△ 11	△ 180				△ 191
流動資産合計	14,760	2,243	2,056	399	276	0	19,734
4. 繰延勘定							
資産合計	410,993	31,532	113,162	609	8,733	△ 3,848	561,181
[負債の部]							
1. 固定負債							
(1) 地方公共団体							
①普通会計地方債	74,388						74,388
②公営事業地方債		8,451	46,226				54,677
地方公共団体計	74,388	8,451	46,226	0	0	0	129,065
(2) 関係団体							
①一部事務組合・広域連合地方債							0
②地方三公社長期借入金					6,318	△ 3,248	3,070
③第三セクター等長期借入金							0
関係団体計	0	0	0	0	6,318	△ 3,248	3,070
(3) 長期未払金	969			8			977
(4) 引当金	12,993	182					13,175
（うち 退職手当等引当金）	12,993	176					13,169
（うち その他の引当金）		7					7
(5) その他							0
（うち 他会計借入金）							0
固定負債合計	88,350	8,633	46,226	8	6,318	△ 3,248	146,287
2. 流動負債							
(1) 翌年度償還予定額							
①地方公共団体	9,030	441	2,845				12,316
②関係団体							0
翌年度償還予定額計	9,030	441	2,845	0	0	0	12,316
(2) 短期借入金（翌年度繰上充用金を含む）					400	△ 120	280
(3) 未払金	95	320		5	142		562
(4) 翌年度支払予定退職手当	1,164	7					1,171
(5) 賞与引当金	711	27	47		2		787
(6) その他		235			17		252
（うち 他会計借入金翌年度償還予定額）							0
流動負債合計	11,000	1,030	2,892	5	561	△ 120	15,368
負債合計	99,350	9,663	49,118	13	6,879	△ 3,368	161,655
[純資産の部]							
純資産合計	311,643	21,869	64,044	596	1,854	△ 480	399,526
負債及び純資産合計	410,993	31,532	113,162	609	8,733	△ 3,848	561,181

②連結行政コスト計算書

バランスシートが、これまでの行政活動によって形成された建物・土地などの資産と、その財源である地方債などのストック情報を表したものであるのに対し、行政コスト計算書は、当該年度に行った行政活動のうち、ごみの収集や福祉サービスの提供といった資産の形成には結びつかない行政サービスに係る経費及び財源のフローを表したものである。

自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日

行政コスト 1,199億円	特定財源 403億円
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">人にかかるコスト</div> <p>人件費や退職手当引当繰入等 140億円</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">事業に対する受益者負担</div> <p>使用料、手数料や負担金など 250億円</p> <p>保険料や事業収入など 153億円</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">物にかかるコスト</div> <p>物件費、維持修繕費や減価償却費 314億円</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">移転支出的なコスト</div> <p>社会保障給付や補助金など 696億円</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">不足する部分は、市税などの一般財源や国県補助金などで賅っている。</div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">その他のコスト</div> <p>公債費(支払利子)など 49億円</p>	

1年間の行政サービス(資産形成を除く)を提供するうえで発生した費用。職員の給料など人にかかる経費として140億円、委託事業や物品の購入、維持管理費などに314億円、生活保護費や医療費、他団体への繰出金などに696億円となっている。

地方公共団体が提供する様々な行政サービスに対して、サービスの直接の対価である受益者からの収入は403億円(行政コストの33.6%)となっており、不足する財源は、市税や国県補助金で賅っている。

市民一人当たりの連結行政コスト計算書

自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日

行政コスト 70万円	特定財源 24万円
<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; text-align: center;">人にかかるコスト</div> <p>人件費や退職手当引当繰入等 8万円</p>	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; text-align: center;">事業に対する受益者負担</div> <p>使用料、手数料や負担金など 15万円</p> <p>保険料や事業収入など 9万円</p>
<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; text-align: center;">物にかかるコスト</div> <p>物件費、維持修繕費や減価償却費 18万円</p>	
<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; text-align: center;">移転支出的なコスト</div> <p>社会保障給付や補助金など 41万円</p>	
<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; text-align: center;">その他のコスト</div> <p>公債費(支払利子)など 3万円</p>	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <p>不足する部分は、市税などの一般財源や国県補助金などで賄っている。</p> </div>

平成22年3月31日現在 今治市人口 171,947人

連結行政コスト計算書

〔自 平成21年4月1日
至 平成22年3月31日〕

【経常行政コスト】

(単位:千円)

	総額	(構成比率)	生活インフラ・国土保全	教育	福祉	環境衛生	産業振興	消防	総務	議会	支払利息	回収不能見込計上額	その他	
1	(1)人件費	11,971,713	10.0%	1,506,490	1,320,083	2,388,106	1,340,354	1,126,997	1,653,041	2,284,229	352,413		0	
	(2)退職手当等引当金繰入等	1,202,446	1.0%	148,670	112,015	227,831	167,302	104,976	181,874	250,820	8,959		0	
	(3)賞与引当金繰入額	786,844	0.7%	103,955	83,436	152,961	93,231	67,609	110,329	151,862	23,461		0	
	小計	13,961,003	11.6%	1,759,115	1,515,533	2,768,898	1,600,886	1,299,582	1,945,244	2,686,911	384,834		0	
2	(1)物件費	12,507,002	10.4%	1,749,444	2,497,792	1,350,228	3,877,530	984,841	223,977	1,792,319	30,871		0	
	(2)維持補修費	1,248,027	1.0%	431,014	135,856	37,379	441,864	148,249	10,061	43,604	0		0	
	(3)減価償却費	17,647,572	14.7%	8,005,982	1,568,471	728,188	2,221,202	3,834,134	201,655	1,087,940	0		0	
	小計	31,402,601	26.2%	10,186,440	4,202,119	2,115,795	6,540,596	4,967,224	435,693	2,923,863	30,871	0	0	
3	(1)社会保障給付	55,172,725	46.0%		73,457	55,089,535	9,733						0	
	(2)補助金等	13,444,650	11.2%	26,659	258,375	8,099,184	385,711	942,528	114,239	3,607,193	10,761		0	
	(3)他会計等への支出額	353,565	0.3%	△ 620,951	0	1,784,206	△ 1,469,719	629,195	30,834	0	0		0	
	(4)他団体への 公共資産整備補助金等	685,866	0.6%	295,264	154	88,884	69,860	211,568	46	20,090	0		0	
	小計	69,656,806	58.1%	△ 299,028	331,986	65,061,809	△ 1,004,415	1,783,291	145,119	3,627,283	10,761		0	
4	(1)支払利息	3,064,082	2.6%								3,064,082			
	(2)回収不能見込計上額	261,903	0.2%									261,903		
	(3)その他行政コスト	1,566,551	1.3%	1,120,101	49	410,807	38,445	54,585	0	0	0		△ 57,436	
	小計	4,892,536	4.1%	1,120,101	49	410,807	38,445	54,585	0	0	0	3,064,082	261,903	△ 57,436
経常行政コスト a				12,766,628	6,049,687	70,357,309	7,175,512	8,104,682	2,526,056	9,238,057	426,466	3,064,082	261,903	△ 57,436
(構成比率)				10.6%	5.0%	58.7%	6.0%	6.8%	2.1%	7.7%	0.4%	2.6%	0.2%	0.0%

【経常収益】

													一般財源 振替額		
1	使用料・手数料	2,226,191		232,563	170,122	418,948	550,906	115,859	18,594	194,226	0	0	0	524,973	
2	分担金・負担金・寄附金	22,797,510		98,503	16,174	22,519,466	64,618	66,836	0	△ 6,335	0	0	0	38,248	
3	保険料	7,854,857				7,854,857									
4	事業収益	6,885,317		2,901,907	21,772	150,642	3,244,129	566,867	0	0	0	0	0		
5	その他特定行政サービス収入	499,516		48,383	26,676	221,503	91,373	111,581	0	0	0	0	0	0	
6	他会計補助金等	0		△ 1,224,759	0	0	△ 25,877	469,001	0	0	0	781,635	0	0	
経常収益 b		40,263,391		2,056,597	234,744	31,165,416	3,925,149	1,330,144	18,594	187,891	0	781,635	0	563,221	
b/a		33.6%		16.1%	3.9%	44.3%	54.7%	16.4%	0.7%	2.0%	0.0%	25.5%	0.0%		
(差引)純経常行政コスト a-b		79,649,555		10,710,031	5,814,943	39,191,893	3,250,363	6,774,538	2,507,462	9,050,166	426,466	2,282,447	261,903	△ 57,436	△ 563,221

連結行政コスト計算書の性質別会計別内訳

（自 平成21年4月1日
至 平成22年3月31日）

（単位：百万円）

性質 \ 会計名称等	普通会計	公営企業 会計	特別会計等	一部事務 組合	外郭団体	相殺による 調整額	計
経常行政コスト							
人件費	10,736	354	628	15	239		11,972
退職手当等引当金繰入等	1,146	54			2		1,202
賞与引当金繰入額	710	27	47		2		786
物件費	9,315	1,030	1,866	105	474	△ 283	12,507
維持補修費	932	87	213		16		1,248
減価償却費	12,743	1,094	3,768	5	37		17,647
社会保障給付	9,811		26,946	18,416			55,173
補助金等	5,790	188	7,518	24	36	△ 112	13,444
他会計等への支出額	9,368		2			△ 9,016	354
他団体への公共資産整備補助金等	686						686
支払利息	1,529	295	1,240				3,064
回収不能見込計上額	104	10	148				262
その他行政コスト	△ 57	36	252	236	1,101		1,568
経常行政コスト合計	62,813	3,175	42,628	18,801	1,907	△ 9,411	119,913
経常収益							
使用料・手数料	2,225		2				2,227
分担金・負担金・寄附金	403	73	11,431	10,977	17	△ 104	22,797
保険料			7,855				7,855
事業収益		3,147	2,251		1,771	△ 285	6,884
その他特定行政サービス収入		91	261	25	123		500
他会計補助金等		323	8,683		16	△ 9,022	0
経常収益合計	2,628	3,634	30,483	11,002	1,927	△ 9,411	40,263
（差引）純経常行政コスト	60,185	△ 459	12,145	7,799	△ 20	0	79,650

③連結純資産変動計算書

税収や国県補助金相当額の減価償却などによる期首から期末への純資産の増減の動きを表した財務書類である。

各会計においてどのように資産形成がなされたかを把握することができる。普通会計においては一般財源と補助金により資産が形成され、特別会計等は補助金により資産が形成されていることが分かる。

連結純資産変動計算書の会計別内訳

自 平成21年 4月 1日

至 平成22年 3月31日

連結純資産変動計算書

(単位:百万円)

項目 \ 会計	普通会計	公営企業 会計	特別 会計等	一部事務 組合	外郭 団体	相殺による 調整額	計
期首純資産残高	310,129	21,116	62,334	491	1,835	△ 480	395,425
純経常行政コスト	△ 60,185	459	△ 12,145	△ 7,799	20		△ 79,650
一般財源							
地方税	21,639						21,639
地方交付税	21,301						21,301
その他行政コスト 充当財源	4,268			1			4,269
補助金等受入	14,328	116	13,855	7,903			36,202
臨時損益							
災害復旧事業費	△ 37						△ 37
公共資産除売却損益	201	△ 37			△ 1		163
投資損失	△ 1						△ 1
収益事業純損失							0
出資の受入・新規設立		100					100
資産評価替えによる 変動額							0
無償受贈資産受入		30					30
その他		85					85
期末純資産残高	311,643	21,869	64,044	596	1,854	△ 480	399,526

純経常行政コスト796億円に対して、地方税など経常的な一般財源が472億円、経常的なコストに対する国県補助金が362億円となっており、受益者負担以外の財源で賄うことができているが、地方税や地方交付税の今後の動向によっては、コスト超過に陥ることが予想される。

④連結資金収支計算書

歳出をその性質に応じて「経常的支出」「公共資産整備支出」「投資・財務的支出」の3つに区分し、それに対応する財源を収入として表示したものであり、各会計の実態を反映した財務書類である。

連結資金収支計算書の会計別内訳

自 平成21年 4月 1日
至 平成22年 3月31日

(単位:百万円)

区分 \ 会計名称等	普通会計	公営企業会計	特別会計等	一部事務組合	外郭団体	相殺による調整額	計	
経常的収支の部	(1) 人件費	12,673	423	679	14	243	14,032	
	(2) 物件費	9,316	1,001	1,866	110	431	△ 283	12,441
	(3) 社会保障給付	9,811		26,946	18,416			55,173
	(4) 補助金等	5,799	188	7,518	24	37	△ 60	13,506
	(5) 支払利息	1,530	295	1,240				3,065
	(6) 他会計への事務費等充当財源繰出支出	8,140		2			△ 8,142	0
	(7) その他支出	969	158	465	236	61		1,889
	支出合計	48,238	2,065	38,716	18,800	772	△ 8,485	100,106
	収入合計	63,732	3,648	40,894	19,039	2,219	△ 9,389	120,143
	経常的収支額	15,494	1,583	2,178	239	1,447	△ 904	20,037
公共資産整備収支の部	(1) 公共資産整備支出	9,021	865	3,832		86		13,804
	(2) 公共資産整備補助金等支出	686						686
	(3) 他会計への建設費充当財源繰出支出	221					△ 221	0
	(4) 一部事務組合・広域連合公共資産整備支出							0
	(5) 地方三公社公共資産整備支出							0
	支出合計	9,928	865	3,832	0	86	△ 221	14,490
収入合計	5,899	238	3,792		3,109	△ 82	12,956	
公共資産整備収支額	△ 4,029	△ 627	△ 40	0	3,023	139	△ 1,534	
投資・財務的収支の部	(1) 投資及び出資金	2						2
	(2) 貸付金	773				23		796
	(3) 基金積立額	1,014		81	175			1,270
	(4) 定額運用基金への繰出支出	10						10
	(5) 他会計への公債費充当財源繰出支出	2,618					△ 2,618	0
	(6) 地方債償還額	9,080	413	4,124				13,617
	(7) 長期借入金返済額					4,096		4,096
	(8) 短期借入金減少額					282		282
	(9) 長期未払金支払支出	1,160						1,160
	(10) その他		327					327
支出合計	14,657	740	4,205	175	4,401	△ 2,618	21,560	
収入合計	3,698	215	2,862		21	△ 1,853	4,943	
投資・財務的収支額	△ 10,959	△ 525	△ 1,343	△ 175	△ 4,380	765	△ 16,617	
当年度資金増減額	506	431	795	64	90	0	1,886	
期首資金残高	13,942	1,233	1,015	335	127	0	16,652	
期末資金残高	14,448	1,664	1,810	399	217	0	18,538	

経常的収支の部における収支余剰200億円に対し、公共資産整備収支の部及び投資・財務的収支の部の収支不足が181億円、全体で19億円の黒字となった。

これは、主に公共資産整備支出が27億円減少したことによるものである。

連結財務諸表・用語解説

連結バランスシート用語解説

用語	解説
有形固定資産	土地や建物の不動産、消防車や医療機器の高額備品などの動産で保有が長期に及ぶ資産
売却可能資産	有形固定資産のうち、遊休資産や未利用資産等(一時的に賃貸している場合も含む)の売却が可能な資産
投資及び出資金	公営企業や外郭団体などへの出資金や有価証券等(連結バランスシートでは、各会計間の出資金は内部取引として相殺消去されている(貸付金も同様))
貸付金	公営企業への貸付金や福祉関係の貸付金など
基金等	特定の目的のために積み立てられ、または運用するために設けられた資金や財産のうち保有が長期に及ぶもの
長期延滞債権	市税などの収入未済額のうち1年を超えて未収のもの
回収不能見込額	時効等により将来徴収不能となる可能性が高いと見込まれるもの
流動資産	原則として1年以内に現金化される資産
現金・預金	現金及び流動性の高い基金など
未収金	市税などの収入未済額のうち過去1年以内に発生したもの
固定負債	返済期限が1年を超える債務
引当金	将来における特定の支出に対する準備額
退職手当引当金	勤務期間中、年々退職手当債務が発生していると考え、これに備えるための引当金
その他の引当金	突発的な災害等に備えるための修繕引当金など
流動負債	返済期限が1年以内の債務
翌年度償還予定額	地方債などの借入金のうち翌年度に返済すべきもの (翌々年度以降に返済が生じるものは固定負債に計上)
翌年度繰上充用金	翌年度歳入からの借入金
賞与引当金	翌年度に支払うことが予定される賞与のうち今年度負担分
純資産	資産形成に充てられた返済の必要のない財源
債務負担行為	物件等の引渡しをうけたもののうち支払いが済んでいない債務

行政コスト計算書の用語解説

用語	解説
人件費	給与費(報酬、職員給、各種手当等)から退職手当及び前年度賞与引当金を除いた金額
退職手当引当金繰入等	当該年度に引当金として新たに繰り入れた額など
賞与引当金繰入額	翌年度に支払うことが予定される賞与のうち今年度負担分
物件費	旅費、備品購入費、委託料、光熱水費などの経費
維持補修費	施設などの維持修繕に要する経費
減価償却費	有形固定資産が経年劣化等に伴い、価値が減少したと認められる金額
社会保障給付	児童手当の支給、高齢者や障害者に対する援護措置、生活保護などに要する経費
補助金等	各種団体に対する補助金など
他会計への支出額	特別会計など他会計に対する財政的な支援金額
他団体等への公共資産整備補助金等	他団体及び民間への支出金により形成された資産の当該年度分支出額
支払利息	地方債及び一時借入金の利子支払額
回収不能見込計上額	時効等により徴収不能となった市税や使用料・手数料など
その他行政コスト	災害の復旧に要した経費など
使用料	施設を利用した際に徴収する料金
手数料	戸籍や住民票、税務証明の発行など公の役務の提供に対し徴収する料金
分担金・負担金・寄付金	受益者負担金、寄付金など
純経常行政コスト	経常行政コストから行政サービス提供の対価である使用料・手数料や負担金・分担金などの経常収益を差し引いた金額

純資産変動計算書の用語解説

用語	解説
地方税	市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、入湯税
地方交付税	普通交付税、特別交付税
その他行政コスト充当財源	地方譲与税、地方消費税交付金、自動車取得税交付金など
臨時損益	経常的でない特別な事由に基づく損益
災害復旧事業費	災害で被害を受けた施設等の復旧にかかる費用
公共資産除売却損益	公共資産の売却に伴う公共資産計上額と売却額との差額
投資損失	第三セクター等に対する出資金の減資
資産評価替えによる変動額	売却可能資産として新たにバランスシートに計上したことに伴う評価差額
無償受贈資産受入	寄付等により無償で資産を受贈した場合の当該資産の評価額

資金収支計算書の用語解説

用語	解説
経常的収支の部	市政を運営するうえで、毎年度継続的に収入、支出されるもの
公共資産整備収支の部	道路や学校、公園など主にバランスシートの有形固定資産形成のための支出及び財源
投資・財務的収支の部	公営企業や外郭団体への出資金・貸付金、地方債の元金償還額などの経費及び財源